

第6回えひめ福祉博2015 結果報告書

えひめ福祉博も皆様の御支援、御協力のおかげで6回目を迎えることが出来ました。本当にありがとうございました。11月7日(土)、8日(日)に愛媛銀行研修所様にて開催させて頂き、多くの方が来場されて、楽しく笑顔で勉強して頂きました。事故や怪我もなく無事に終了致しましたことを、御報告させて頂きますと共に、関係者皆様へは熱く御礼を述べさせて頂きます。今回は福祉のみに特化させず安心、安全を目標にライフサポートをテーマにして防災、防犯、また人や環境にやさしいものを取り上げました。塩崎厚生労働大臣、愛媛県議、松山市議、中予地区の市町議員や官公庁の職員の方など行政に携わる方々が多く御来場されました。

この福祉博も、愛媛県内外より55社の出展業者様があり、7日は582人、8日は491人、合計して1073人の御来場がありました。多くの方が熱心にスタッフの方に話を聞かれたり、色々な体験コーナーにチャレンジされたり、初めて福祉用具にさわられたりして、見て：聞いて：触れての予定通り、また以前に増しての内容の濃いものとなりました。ただ今回の防災コーナー(6階)のみを見られて帰る方やセミナーのみ聞いて帰られる方(6階)など総合

案内が出来なかったことは大きく反省すべきこととなった。来場者からのお声としてアンケートを御記入頂いた（記入枚数300枚）内容より少し抜粋いたしますと、「東日本大震災におけるボランティアの方々の活動には感動したを含め多くの方の貴重な意見目立った、またスタッフの方の対応が良く一生懸命に説明してくれるのでわかりやすかった、色々と体感出来て良かった、本当に楽しかったのもうたまた来たい、聴導犬：介助犬がかわいかった、癒された、1階の特浴には驚いた、お風呂も進化していると実感、将来自分も使うのかな？等勉強になった。また返って1年に1回と言わずもっと回数を増やして欲しい、松山以外でも開催して欲しい、もっと福祉用具の種類が見たい、車椅子がない、排泄特に紙オムツや簡易トイレ等があったら良かった、もっと出展社の方とゆっくりと話がしたかった、価格についても相談したかった、木材の展示が良かった、愛媛県産材に興味をもった、警察の方の詐欺防止の劇がリアルで勉強になりました、訪問入浴の大変なことが理解出来た、老後の備えは初めて聞くことが多くおもしろかった、目の不自由な方へのマットや信号機を初めて体験して是非多くのところで使ってもらいたい、会場が2つなので1つにまとめて欲しい、歩くと結構距離はあります。」等

の意見があり今後の検討とさせていただきます。

また来場者の内訳はアンケートをベースにすると松山市を中心にやはり中予地区が多く、次に東予地区の方が四国中央市を含め去年よりかなり増え、南予の方は初めて0でした(地元で大きなイベントがあったのが原因か？但しこれはアンケートのみで実際には宇和島から施設長やケアマネさんの来場もある)また年代層は40代からが圧倒的に多く、残念ながら今回も高校生、大学生等若い方の姿が余り見当たらなかった。今年のテーマは「みんなで助け合おう！！ヘルプミー！ヘルプユー！」でした。今回も色々な方々からの御意見を頂き本当にありがとうございました。参考にさせていただきます。

前回同様にこれから、みんなが助け合い、声を掛け合い昭和の元気があった時代にまた戻り、そして誰もが安心して暮らし、笑顔で長生き出来る時代がくることも近いと信じております。えひめライフサポート協会のスローガンとして「愛媛の元気は自分達の出来るところから始めよう」を掲げております。これは各自、個人差があります、一人一人が無理をせず出来るところからスタートして、出来る人が出来ない人をサポートしてみんなが手をつないでいっしょに、最後にゴールしましょうという思いでつくりました。今回で6回目

となりました福祉博もその思いを愛媛県の皆様に託しました。

そして今年も多くの方々が来場され、私達も多くの元気と笑顔をもらいました。率直に本当に、ありがとうの一言に尽きます。またここまで無事に出来ましたのも出展業者の皆様方のおかげです。本当にありがとうございました。また本当にお疲れ様でした。

この6年間を無事に出来ましたことに、ここにおいて改めまして御来場者の方々、出展業者の方々、特に会場を御提供して頂き且つ色々な面でサポートをして頂きました愛媛銀行様、またサポートを頂いた多くの関係者の皆様方に深く、深く感謝致します。本当にありがとうございました。どうか次回もお力をお貸し頂けませんか？。皆様来年もどうかよろしくお願い致します。

平成27年11月17日

NPOえひめライフサポート協会

会長 澤村 昭仁